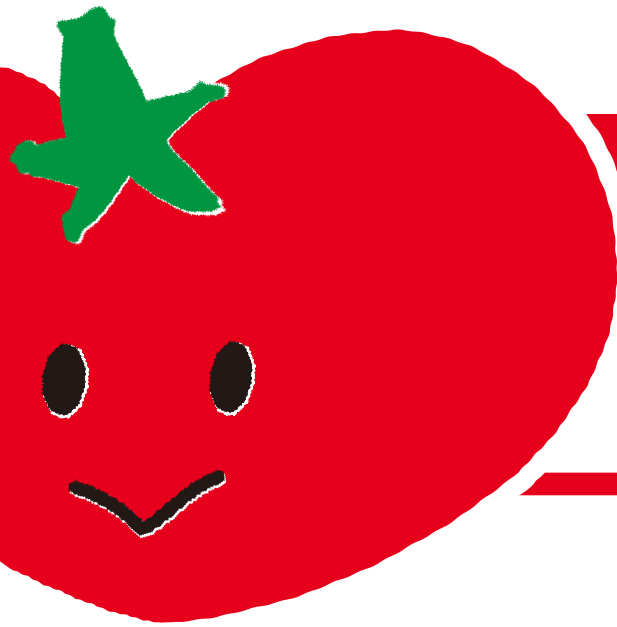




笑顔がつくる、はつらつ島根。

# とまちゃん通信

角ともこ県議会レポート

2025.8 August vol.71

## 六月定例議会

## 学びたいと思う人が集える場

### 夜間中学の設置を求めて

令和七年度最初の六月定例議会では、関税措置の影響を受ける事業者への支援、米価上昇に対する給食費への支援、「高校無償化」への対応などに要する総額6億円の補正予算案など知事提出議案23件、医療機関の事業と経営維持のための診療報酬再改定を求める意見書など議員提出議案3件の議案の審議が行われ、すべての議案が可決しました。

今議会では、議長・副議長の交代があり、議長に池田一議員、副議長に高橋雅彦議員が選任されました。また、委員会の構成委員の改選もあり、角智子は、防災地域建設委員会の所属となりました。また、中山間地域離島振興特別委員会の副委員長に選任されました。質問では、一問一答形式で一般質問を行いました。その内容について報告します。

#### 夜間中学のニーズを調査

再び夜間中学についての質問をしました。鳥取県では昨年、県立の夜間中学が開校し、中学までの学びをしたいという人たちが通ってきています。島根県内では、大田市で自主夜間中学が有志の皆さんによって運営されています。県として支援の手が差し伸べられないのでしょうか。

全国的に都道府県で夜間中学が設置されていない、または検討されていない都道府県はいくつあるのか。

教育長 文部科学省の調べによると、今年4月時点で、区域内に、県立、市町村立、私立といった設置者を問わず、夜間中学が設置されていない都道府県は15県。そのうち、設置者を問わず、新たに設置予定があるのが6県、検討中が3県、設置予定がない県が本県を含め6県となっている。

文部科学省が令和6年7月24日に行った夜間中学設置促進説明会で示された資料によれば、ニーズ調査未実施自治体の中に島根県が挙げられてい

る。島根県では、ニーズの把握に取り組まれたのか。

教育長 県教育委員会では、平成30年度の調査以降は、市町村教育委員会に対して、夜間中学設置に関する要望等が届いていないか、毎年度を確認している。

鳥取県では、設置検討の中でニーズ調査も行われた。その結果、本人調査での回答が121件あり、そのうち37件が通ってみたいとの回答があったとのこと。

ニーズ調査の実施について再考すべきではないか。

教育長 前回の県によるニーズ調査で、県全体の需要の程度が判明したと考えている。夜間中学がどのような制度であるのかを理解した上で、どこに何人のニーズがあるのかといった今以上の調査をすることがどうかについては、中学校の案件であり、市町村教育委員会でお考えになることだ。

大田市では、自主夜間中学が、講師や運営に当たる人たちの善意で行われている。この取組について、調査ある



一問一答で質問

いは意見交換など行っておられるのか。

教育長 大田夜間中学については、現時点、小中学校の不登校または不登校傾向の児童生徒が通っていないので、県教育委員会のフリースクール等連絡協議会の対象ともなっており、調査、意見交換は行っていない。

教育確保法第19条では、中学を卒業した者と同等以上の学力を習得することを希望する者に対して、教材の提供その他の学習支援のために必要な措置を講ずるよう努めることとしている。

夜間中学を必要としている人はいないとは断定できない。必要とする人たちに手を差し伸べるべきではないか。

知事 学び直しをしたいという方に支援をしていくのは、行政上必要なことだ。

島根県としては、高校段階における学び直しの機会を提供する趣旨から、六道高校や浜田高校の定時制、通信課程において、義務教育で取り扱う内容の学び直しの科目を設置することに、より、高校教育との接続を図り、高校卒業の資格を得ることができるよう支援をしている。

学び直しということの意義は、私も十分理解するが、県として支援をしていること、そして夜間中学設置に関するニーズがほとんどないことを考えると、新たに県立の夜間中学を設置することは現実的ではない。

#### 公益通報者保護制度の周知

不正を内部通報したことを理由に、従業員を解雇や懲戒処分にした個人や法人に刑事罰を科すことなどを盛り込んだ改正公益通報保護法が、今年4月に成立しました。

内部通報者保護制度は、企業が自社のリスクを吸い上げて自ら改善することを通して、自浄作用を働かせて、コンプライアンス違反を未然に

防ぎ、社内の働く環境をよりよく整備していくための制度です。よりよい職場環境をつくっていく上でも、この制度が十分に機能する環境をつくっていくことが大事です。

#### 公益通報者保護制度とは

どのようなものか、伺う。

総務部長 公益通報者保護制度とは、企業など、事業者における違法行為について、事業者内部の窓口または権限を有する行政機関や報道機関などの外部に通報した労働者などを保護するために、公益通報をしたことを理由とした労働者等への解雇等の不利益な取扱いを禁止する制度。

#### 県職員の皆さんに向けて、公益通報者保護制度の周知の取組について伺う。

総務部長 内部窓口委員と外部窓口委員の2つの窓口設置、職員には不正を見逃さずに、必要な場合には内部通報もできることを職員ポータルへの掲示により周知を行った。県の内部通報への対応や公益通報者保護制度全般について、職員がいつでも確認することができるよう、公益通報等に係る

#### 島根半島震災対策事業

昨年の能登半島地震を受けて、半島を抱える島根県でも地震などの災害に備え、救助・救援活動が円滑に行えるよう道路の改良や法面・落石対策、漁港の修繕など、10年間で約103億円の事業計画が報告されました。この事業費のうち50億円は中国電力から毎年5億円を10年間協力してもらっていることになっています。中国電力からの財政面で

の協力を得ることで行政と

対応に関する要綱や、公益通報等に関するマニュアルなどの関係資料を職員ポータルに掲載し、周知している。

企業の労働者の皆さんなどが島根県に対し、外部通報する場合の受付窓口はどのようになっているのか。

総務部長 自らの企業内の法令違反等について、県に通報する場合は、当該法令違反等に対して処分または勧告などを行う権限のある部署が受付窓口となっている。また、担当部署が不明な場合には、総務部人事課に問い合わせるようお願いしている。

#### この公益通報者保護制度について、また、このたびの法律改正についての所見を伺う。

知事 人間がやることなので、あるべき姿から外れてしまいうになるところを、こういう制度があることで、不正をすると公になること、情報として公開されていくことで、自制を求められ不正の未然防止に大変有効である。こういった制度をきちんと運用していくことが、今回の法改正の趣旨も踏まえ求められていると認識している。

に避難ができるよう備えておくことが必要です。



防災地域建設委員会

発行者 角 智子 〒690-0063島根県松江市寺町67-23  
TEL.(0852)28-8880 FAX.(0852)28-8881  
E-mail sumi@tomachan.net  
U R L http://www.tomachan.net/

# とまちゃん通信

## 夜間中学について調査

### 鳥取県立まなびの森学園

なかなか、島根県では夜間中学の設置について検討が進まないのはなぜなのかという疑問があり、5月16日、鳥取県が設置された県立まなびの森学園に調査に行ってきた。昼間でしたので、生徒さんたちにはお会いすることができませんでしたが、校長先生はじめ担当者の皆さんから話をお聞きしました。

その中で、ニーズ調査についても伺うことができた。鳥取県では、2018(平成30)年度から2か年調査研究され、公立夜間中学の設置について検討を進めることになり、2020(令和2)年度から翌年度にかけて設置検討がなされ、その中でニーズ調査も行われました。ニーズ調査は、必要とされるであろう

## 会派研修会

### 指でコミュニケーション

病気や障がいによって言葉を伝えることが難しい人の指を手にとってコミュニケーションを図る指談について、6月24日、県議会で会派主催の研修会を、指談の会ゆびさきの代表天野依子さんを講師に行いました。

この指談についての理解を深め普及に取り組んでほしいと、白石議員が議会質問で取り上げられたことをきっかけにこの研修会が実現しました。

2017(平成29)年11月議会のインクルーシブ教育についての角智子の質問の中で紹介をしたことがある「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんは、発達障がいがあっても意思疎通を

## おおだ夜間中学

鳥根県全体でもこのような丁寧なニーズ調査を行えば、必ず通いたいという人はいるはずではないでしょうか。

実際、鳥根県でも大田市で自主夜間中学が2023年11月に開かれています。ここへも6月14日の夕刻に調査に行ってきました。おおだ夜間中学は、かつて大阪府で夜間中学の教師をした経験のある青木正三さんが中心



山口京子校長(右から二人目)を囲んで

と思われる人たちに問い合わせがある団体・機関、不登校生やひきこもりの支援を行っているところ、国際交流機関、企業などを訪問し、夜間中学のことを説明し、本人または支援者、保護者を対象にアンケート調査を行ったそうです。その結果、本人調査での回答が121件あり、そのうち37件が通ってみたいとの回答があり、ニーズがあると判断されました。最も必要とする人が多かった鳥取市に、駅から近いということ、現在の県立教育センターの一部を改修して昨年4月に夜間中学が開かれました。

図れる手段を得れば、当事者が何を考え、何をしたいと思っているのか、あるいは置かれた状況をどう捉えているかなどを伝えることができるということ、そして思考していることは私たちと変わらないということを教えてくださいました。東田さんの場合はタブレットだったのですが、今回の研修で紹介されたのは指だったのです。



講師の天野さん

意思を表現する手段を得れば重度の障害があってもコミュニケーションが図れるということを、天野さんは指先を使うことで実現でき、さらにそこから文字が書けたり、電子パットを使うことができるようになったりし表現の幅ができるようになっていくことを報告されました。

東田さんはタブレットが使えるということで意思疎通を図るきっかけとなったのですが、指でもそれができるということを知りました。こうした手段があるということをもっと多くの人たちが知り、病気や障害があっても周りの人たちとコミュニケーションができ、地域で共生できる環境が整っていくことを期待します。

## ♡35年目のラブレター♡

皆さんは、「35年目のラブレター」という映画をご存じでしょうか。笑福亭鶴瓶さんが主演して今年春に全国で上映され、反響を得た映画です。

この映画は、奈良市に住む西畑保さんが、貧困がゆえにいじめを受け、学校へ通えず、読み書きができないまま成長し、そのことを隠したまま就職、結婚し、苦勞を重ねました。65歳にして夜間中学を知り、読み書きを学び、そして結婚35年目

となって取り組んでいます。その自主夜間中学で、皆さんの声を聞いてきました。



おおだ夜間中学の広報紙

費の補助はありません。今年は、赤い羽根募金から少し補助

助金がもらえるようになりましたが、十分ではなく、講師や運営に当たる人たちの善意で行われています。鳥根県教育委員会はこうした現状など、学びの機会確保に取り組む人たちがそこに通う人たちの声を聞き、最善な学びの場の確保に努めることが必要ではないでしょうか。

にして、初めて妻に手紙を書いたという実話を基にした映画です。この実話は、昨年、単行本、文庫本でも出されています。西畑さんのように義務教育を修了しないまま学齢期を経過した人や、不登校など、様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人、本国や日本で義務教育を修了していない外国籍の



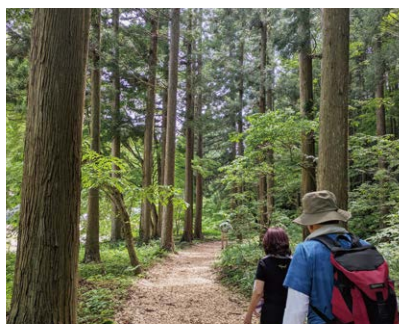
ノンフィクション「35年目のラブレター」

人など、様々な背景を持つ人たちの学びを保障するため、文部科学省では、全都道府県、指定都市に少なくとも1つ夜間中学を設置されることを目指しています。

## 森林セラピー

6月7日、しまね子どもをたばこから守る会の春のレクリエーションに飯南町ふるさとの森へ出かけました。森林セラピーのガイドも務める会員の案内で森林浴によるセラピー体験をしました。

最初にレストラン「ミセスロビンフッド」で薬膳料理をいただき、腹ごしらえをして森へ移動。森の中の木材チップを敷きつめた遊歩道を新鮮な空気を吸いながら1時間余り散策しました。遊歩道と並行して川も流れていて、せせ



森の中を歩く

らぎの音や鳥の鳴き声を聞きながら、いろいろな植物を観察して、ゆったりとした時間を過ごすことができました。皆さんも森林セラピーでリフレッシュしませんか。